

にこ通

令和3年7月
vol.110 あ

事務所の
バラ



前回咲きたとこでカット。
二度目の花を咲かせて
くまました♡

60年ぶりに蓮沼の地へ

祖母と母もつなぐ旅。6月30日に決行しました。

午前10時、母と叔母と砺波インター近くのユニ-馬場場で待ち合わせ。まずは車内でミーティング。

●今までに分かっていること

- ・おはあちゃんに連れられて来た時、石動駅で汽車を下りていたこと
- ・祖母の口から「蓮沼」という地名がよく出ていたこと
- ・大きな墓地ではなく、3つぐらいの墓石が並んでいて、そこに手を合わせていたこと
- ・家とお墓のある場所が丘のようなところだったこと
- ・家の前が砂利道だったこと



昭和30年代の石動駅

●手元にある資料

- ・現在の小矢部市蓮沼の住宅地図のコピー（土地改良があり、全く参考にならない）
- ・明治11年作成の西礪波郡殖生村蓮沼の和紙公図
- ・地番の記載のある除籍謄本

いざ出発!! 結果... 何も分かりませんでしたTT

何分にも母、叔母ともいう覚えなので、ピンとくる場所がなくて。

同じところを3周も4周もしたでしょうが、小1時間ほど車でまわった後、砺波に戻りランチタイム。

「令和と明治の間の地図を見たいよね」ということでスマホで調べると、過去の地図が図書館に保管されていることが判明! 母と別れた後、富山県立図書館へ直行。現存する最も古い小矢部市の住宅地図は昭和46年でした。そんな昔のが保管されていることにビックリ!!



加越線 昭和47年に廃線

昭和46年版を見ていて新たな発見が!!

昭和47に廃線になるまで「加越鉄道」が石動から庄川まで走っていたのです。

南石動駅が蓮沼にある! ということはもしがしたら石動駅で加越鉄道に乗り換えて蓮沼まで来たのかなあ、と想像。祖母の旧姓(養子に行った先の姓)も何軒かある。今度行ってみようかな。

この後できることといえば、蓮沼に住んでいる70才以上の方に聞いてまわるか、図書館などで当時の記録(そんなものあるかな?)を調べるか... 探偵サイトスクープに依頼をするか(笑)

今日一日で記憶にある場所に立つことはできなかったけど、60年前に想いを馳せて会話をしている母と叔母を見ているだけで、誘ってみてよかったと思いました。

簡単に分からないからこそたまにがして見つけたくなるのですが、集中調査は一旦ここまで。

仕事の合い間にマイペースで続けていこうと。いつかまたご報告できたら...♡